

信州大学医学部附属病院 脳神経外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025 年 1 月 15 日

「脳幹部病変の手術における錐体路マッピングの有用性に関する後方視的研究」を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6391
研究課題名	脳幹部病変の手術における錐体路マッピングの有用性に関する後方視的研究
所属(診療科等)	脳神経外科
研究責任者(職名)	窪田雄樹(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2029 年 12 月 31 日
研究の意義、目的	脳幹部病変の手術で錐体路マッピングを実施してから病変を摘出することで、錐体路の障害を避けて手術の安全性を向上させることを目的としております。 この方法は脳幹部の手術の安全性を向上させることができるため脳外科手術の発展に貢献すると考えられます。
対象となる方	2008 年 4 月から 2029 年 12 月 31 日までの期間に当院において脳幹部病変の手術を実施した方。
利用する診療記録	年齢, 性別, 疾患名, 手術部位, 手術法, 手術回数, 錐体路マッピングの有無, 錐体路マッピングの刺激強度, 術後神経脱落症状
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し錐体路マッピングの有用性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	窪田雄樹(脳神経外科・助教) 電話: 0263-37-2689

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。